

創立40周年記念式典 令和3年5月20日



今後の事業日程(予定)

- 1月 初釜
- 2月 節分、歳祝い
- 3月 地域懇談会、慰労会



苦情や要望お寄せください。

当施設では苦情や要望を承っております。より良い施設づくりのため、お気づきの点がございましたら、どんなことでもお寄せください。
(担当:佐々木和公)

編集 後記

水交会40周年を記念して今回の広報誌を作成していく中で、利用者の皆さん、職員の皆さんの中の沢山の歴史と思い出に触れる事が出来ました。これからも50周年60周年とさらに続けていくよう、そして私もその歴史の中の一人として携わって行けたらと思っています。
(担当:中村朋主)

創立40周年記念号

広報

第27号

発行 社会福祉法人
かわ舟の里角間川
施設長 三浦 靖之
〒014-1413
秋田県大仙市角間川町字町頭98
TEL 0187(65)3676
FAX 0187(65)3191

「角間川更生園」から「かわ舟の里角間川」へ



中央の緑の屋根が旧施設、右側の灰色の施設が建設中の新施設(平成30年 秋)



かわ舟の里角間川 創立40周年に寄せて

大曲仙北広域市町村圏組合管理者
大仙市長

老松博行

「かわ舟の里角間川」の創立40周年を心からお祝い申し上げます。

ご案内のとおり、この施設は昭和56年に大曲仙北広域市町村圏組合によって角間川更生園として設置され運営を開始いたしました。知的障がいを持つ成人の方々の入所施設として60名の定員によりスタートし、これまで、地域で暮らす障がいを持つ方々の緊急時の一時入所や障がいを持つ子供の療育、相談などにも取り組みながら、地域に密着した施設として歩んでまいりました。

平成25年には、社会福祉法人水交会へ運営が移譲され、その後、老朽化などによる改築の時期を迎え、令和元年には、新生「かわ舟の里角間川」が完成いたしました。現在の形を迎えることができましたことは、関係各位や保護者の皆様、

とりわけ地域の皆様の温かいご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

また、この施設につきましては、災害時には、地域の方々の避難所としての機能も兼ね備えており、地域の皆様の安全安心に資するものと大いに期待をしているところであります。

社会福祉法人水交会におかれましては、地域福祉向上のために、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、この記念すべき40周年を契機といたしまして、「かわ舟の里角間川」が、より地域とのつながりを深め、障がいを持つ方々の豊かな未来の創造に寄与する施設となり続けますことを心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

職員の思い出

昭和56年・・・

ふれあいの郷しみず 支援員
伊岡森 長幸

振り返れば、開設当初は施設の周りに建物が殆どなく田んぼばかりの環境でした。利用者の方々、職員とも若く施設利用者に携わることが初めての方々が殆どであり、お互いに希望と不安を抱えた開設でしたが、ノーマライゼーションの理念のもと、皆で取り組みました。時にはホームシックで泣き

出してしまう方、夕方になるとプレザーに着替え飲みに行くと言って外出しようとする方などもいました。作業では地域の方々より烟、ほだ場などをお借りしながら、また行事やグループホーム設立でも沢山のご協力をいただきて目標とする地域住民に親しまれる施設として取り組みました。

寄稿するにあたり当時の写真を見返すと皆若々しい姿で映っていましたが、残念ながら鬼籍にはいられた方もおられ、40年と言う月日を感じざるを得ませんでした。新たにかわ舟としてスタートしていますが、利用者の皆さん日々楽しく笑顔で健康な生活が送れるように願っています。

四十周年にあたり

後三年鴻声の里 施設長
菅尾修

かわ舟の里角間川は平成31年3月に旧施設の北側にシルバーを基調とした落ち着きのある施設に改築されました。昭和56年に角間川更生園として開所して以来38年が経過し老朽化により多様化する利用者のニーズに対応するための改築でした。その改築に関わることができた事は開所当時の職員として大変うれしく思います。

当時を思い出してみると障がい者の施設は一般的に人里離れたところに建設されることが多い時代でした。そうした状況の中、現施設の前身となる角間川更生園は町の郊外ではあります、民家が周辺に隣接しているという環境に建設され

た事は、とても意味のあることだったと思います。そのため地域の行事に参加させていただいたり、住民を施設へ招待したりなどの交流行事も盛んに行われた記憶があります。現在の施設の周辺には、住宅や老人施設が立ち並び、地域の中に施設があるという環境となっており、当然地域との交流が開所当時に盛んになっているように感じます。施設改築の際、現在地から離れるという計画もありましたが、地域から現在地での改築要望があった事はこれまでの地域との関わりが良好に進んできた証ではないかと思います。40周年という節目にあたり、改めて地域の皆さんに支えられてきた施設だと実感しています。今、新型コロナウィルスの影響でなかなか地域との交流行事を開催できずにいますが、感染が終息して以前にも増して、地域との交流が盛んに行われる事を祈っています。



40周年に想う

社会福祉法人水交会
理事長

高井慶藏

れた柔軟かつ迅速な事業展開が可能となる社会福祉法人による運営を目指すこととし、平成25年4月、社会福祉法人水交会に移譲し名称もかつての雄物川水運の拠点にならみ、「かわ舟の里角間川」としました。

以来8年が過ぎました。令和元年5月には国、県、広域圏組合の全面的御支援により県下に誇れる素晴らしい建物になりました。設置されて40年間に社会情勢の変化により経余曲折がありましたが地域住民の御支援と関係各位のご協力によって「利用者ファースト」の施設運営がなされています。

それにつけても、職員の献身的な姿勢には感謝しております。健在に留意され明日も明るく元気にして貰えますことを願っています。40周年を迎えることができありがとうございました。

22歳の僕

かわ舟の里角間川 施設長

三浦靖之

若くて何もわからない、知らない僕にあなた達は、人間に色々な人がいることを、色々な考え方を持っている人がいることを教えてくれました。僕達以上に不安を抱えて入所してきたでしょうに。心の底に願いや不満を抱えてきたでしょうに。思えば入所している皆さんと色々な事をしました。



佐藤邦子さん

昭和56年4月に入所し、様々な行事に参加しました。いちばんの思い出は姉さんと一緒に花巻旅行です。姉さんと一緒に食べた料理はとてもおいしかったです。これからも施設の皆さんと一緒に様々な行事や生活の中で幸せな時間をたくさん作っていきたいです。



長澤祐子さん

創立から40年、皆といった旅行は本当に楽しかった。仙台旅行では細川かしと長山洋子コンサートが素晴らしいかった。大切な姉家族、一緒に暮らす仲間がいるから元気で過ごせます。これからも一緒に思い出を沢山作っていきます。

利用者の思い出



越後谷仁さん

施設に入って40年、沢山旅行に行きました。八木山ベニーランドでパイラットに乗ったり、東京ドームで巨人、横浜戦を観戦したり、県スポーツ大会でフリスビーに出場し3位を取らいました。沢山の思い出をありがとうございます。



佐藤省吾さん

施設での40年は楽しい事も辛い事も沢山ありました。日中活動ではスノーボールやポリパック作業、行事では更生園祭やスポーツ大会、グループ旅行など様々な体験をさせてもらいました。これからも皆さんで沢山の思い出を作っていきたいと思います。

思い出の アルバム



平成6年 更生園祭



平成3年 雪まつり



平成15年更生園祭



平成13年 送別会



平成6年 県南スポ・レク大会開会式



平成15年 お茶会



平成16年 グループ旅行



平成13年 スポーツ大会



平成6年 県南スポ・レク大会



平成15年 グループ旅行



平成16年 グループ旅行



平成17年 スノーポール慰労



令和3年 ベストショット1



令和3年 ベストショット2



善意に感謝

- 柿の寄贈（10月）
北島 定様
- スポーツ飲料提供（10月）
角間川地区体育振興会様
- さつまいもの寄贈（11月）
角間川小学校様
- 米の寄贈（11月）
ヒシダ店舗様
- クリスマスリース（12月）
角間川保育園様

新規入所者

熊谷 大樹さん
令和3年8月入所



DVD観賞やアンパンマンの本を見るのが大好きな大樹さんです。元気に施設の生活を送って欲しいです。

菊地 朱美さん
令和3年11月入所



笑った顔がとてもチャーミングな朱美さん。これから施設で楽しく生活して欲しいです。

須田 さつきさん
令和3年12月入所



優しさいっぱいのさつきさん。誰かが何かを落とすとすぐに駆けつけて拾ってくれます。これからも皆さんと一緒に施設の生活を過ごして欲しいです。

コロナワクチン接種



7、8月にコロナウイルスのワクチン接種を行いました。利用者・職員無事に2回のワクチン接種を終えております。

ご協力いただいた関係者の皆さまありがとうございました。

スノーポール倉庫兼作業場完成・贈呈式



9月22日に家族会様よりスノーポール倉庫兼作業場を贈呈していただきました。かわ舟の主力作業のスノーポール。今年の分は大仙市や横手市に納品されました。来年の分をこれから作製していきます。

